

板紙製造業の新たなベンチマーク指標

- 新たなベンチマーク指標は以下のとおりです。

$$\text{各事業者のベンチマーク指標算定値(kl/t)} = \frac{\text{エネルギー使用量(MJ)}}{\text{板紙製造量(t)}} \times \text{補正係数}$$

$\frac{\text{業界の平均的な品種構成になった場合のエネルギー使用量}}{\text{各事業者の製造品種を考慮したエネルギー使用量}}$

※業界の平均的な品種構成になった場合のエネルギー消費原単位に補正する値

- 製品によるエネルギー消費原単位の違いを補正

【参考】ベンチマーク指標の計算例

生産量：10,000 t（内訳は下表）、エネルギー使用量：60,000,000MJの場合

（エネルギー消費原単位（補正前）：6,000MJ/t）

	ライナー	中しん紙	白板紙	黄板紙、色板紙、チップボール	その他の板紙	その他の洋紙
生産量（t）【各社生産量】	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0
品種別原単位（MJ/t）【固定値】	5,709	4,841	10,400	9,987	9,297	22,914

※下表の色付き数値を、補正係数作成の際に固定値として使用する。

説明		計算式
①製品構成等の把握	業界平均のエネルギー消費原単位【固定値】と <u>品種別のエネルギー消費原単位【固定値】及びそれぞれの生産量【各社生産量】</u> を把握する。	<p>○平均値 7,706(MJ/t)【固定値】</p> <p>○各製品原単位と生産量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライナー 5,709(MJ/t)【固定値】 / 2,000(t)【各社生産量】 ・中しん紙 4,841(MJ/t)【固定値】 / 2,000(t)【各社生産量】 ・白板紙 10,400(MJ/t)【固定値】 / 2,000(t)【各社生産量】 ・色板紙 9,987(MJ/t)【固定値】 / 2,000(t)【各社生産量】 ・その他の板紙 9,297(MJ/t)【固定値】 / 2,000(t)【各社生産量】
②補正係数の作成	業界の平均的な品種構成になった場合の <u>エネルギー使用量（推計値）</u> を、各社の <u>品種構成を考慮したエネルギー使用量</u> で割り、 <u>補正係数</u> を得る。	$\frac{7,706(\text{MJ/t}) \times (2,000 + 2,000 + 2,000 + 2,000 + 2,000)(\text{t})}{(5,709(\text{MJ/t}) \times 2,000(\text{t})) + (4,841(\text{MJ/t}) \times 2,000(\text{t})) + (10,400(\text{MJ/t}) \times 2,000(\text{t})) + (9,987(\text{MJ/t}) \times 2,000(\text{t})) + (9,297(\text{MJ/t}) \times 2,000(\text{t}))} = 0.958$ <p style="text-align: right;">補正係数</p>
③補正の実施	補正係数を事業者の <u>エネルギー消費原単位</u> に <u>乗じて、原単位を補正</u> する。	$\frac{60,000,000(\text{MJ})}{10,000(\text{t})} \times 0.958 = 5,748(\text{MJ/t})$

【参考】令和4年度以降の定期報告書への記載方法

- 板紙製造業のベンチマーク指標報告対象事業者は、以下の方法により、ベンチマーク指標の状況等を報告してください。

■ 定期報告書（令和4年度報告の場合）

特定－第6表 ベンチマーク指標の状況（該当する事業者のみ記入）

区分	対象となる事業の名称（セクター）	対象事業のエネルギー使用量（原油換算kl）	ベンチマーク指標の状況（単位）					中長期計画書に記載したベンチマーク指標の見込み	達成率	目標年度における目標値（単位）
			年度	年度	年度	年度	年度			
4B	板紙製造業	1,570kl	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	5,748	2021年度のベンチマーク見込み	〇〇%	4,944
			*過年度のベンチマーク実績							

補正後の指標を記入

特定－第7表

1-1 判断基準のベンチマーク指標の算出に当たり、根拠となる情報

補正前の指標、補正の根拠となる値及び補正算定式を記入

補正前の指標：6,000、補正係数：0.958 $6000 \times 0.958 = 5748$

エネルギー使用量60,000,000MJ

生産量10,000t（ライナー：2,000t(20%)、中しん紙：2,000t(20%)、白板紙：2,000t(20%)、

色板紙：2,000t(20%)、その他の板紙：2,000t(20%)

【参考】板紙製造業のベンチマーク指標報告対象事業者

- 板紙製造業のベンチマーク指標報告対象事業者は、段ボール原紙等を主に製造し、当該事業の年間のエネルギー使用量が1,500kl以上の者となります。
- 日本標準産業分類で板紙製造業に分類される事業所を有する事業者は、当該事業所が板紙以外の製造を行っている場合であっても板紙製造業に該当します。
- 具体的には、板紙（紙器用原紙）の生産割合が52%、洋紙（包装用紙）の生産割合が48%の場合、当該事業所は板紙製造業に該当します。

■ ベンチマーク対象事業者：主に以下の板紙を製造する事業者

- ✓ **段ボール原紙**（ライナー、中しん紙）
- ✓ **紙器用原紙**（白板紙、黄板紙、色板紙及びチップボール）

※以下の板紙を主に製造する事業者は対象外

- ✓ 建材原紙
- ✓ 電気絶縁紙
- ✓ 食品用原紙
- ✓ その他の特殊紙

【参考】別表第5 ベンチマーク指標及び中長期に目指すべき水準（抜粋）

区分	事業	ベンチマーク指標	目指すべき水準
4B	板紙製造業（主として木材パルプ、古紙その他の繊維から板紙（段ボール原紙（ライナー及び中しん紙）及び紙器用板紙（白板紙、黄板紙、色板紙及びチップボールを含む））を製造する事業（建材原紙、電気絶縁紙、食品用原紙その他の特殊紙を製造する事業を除く））	板紙製造工程におけるエネルギー使用量を板紙生産量にて除した値に、板紙生産量に7706（単位 MJ/t）を乗じた値を品種に係る固定値(δ)に品種に係る生産量に乗じた値で除した値を乗じた値	4944MJ/t 以下

（備考）

3 板紙製造業（4B）のベンチマーク指標の固定値(δ)は、次の（1）から（6）までに掲げる製品に応じて、（1）から（6）までに定める数値を用いること。

- （1）ライナー 5,709（単位 MJ/t）
- （2）中しん紙 4,841（単位 MJ/t）
- （3）白板紙 10,400（単位 MJ/t）
- （4）黄板紙、色板紙、チップボール 9,987（単位 MJ/t）
- （5）その他の板紙 9,297（単位 MJ/t）
- （6）その他の洋紙 22,914（単位 MJ/t）